

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行／総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail: info@g.jyuji.or.jp
印刷／大和印刷株式会社

2019
No.219

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



動物ふれあい (2019年4月25日) にて

言葉は分からなくても、あなたの声は十分私に届いています。
「犬からご主人への11のお願い」 Mrit Teigen (ノルウェー) より

イルド

理事長 鈴木 淳司

初めまして、四月より理事長に就任し、毎日を、身の引き締まる思いで祈り過ごしております。

十字の園の基礎を創られたハニ姉妹は、十字の園を伝道と奉仕の団体として位置づけました。

伝道「主イエス・キリストに召されたその愛の業をとおして、世界の困難の中にある人々に福音を伝えたい。」奉仕「主イエスご自身の仕えることを戴き大変感謝ですから、私たちもこの愛と憐みを困難の中にある人々に与えたい。」

伝道は、福音(主イエスから与えられた喜び)を伝える事。奉仕は、「人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。」(マタイ20・28)のみ言と結びつき、愛と感謝の心で仕える事。この事を肝に銘じてこれからも努めさせて頂きます。よろしくお願ひ申し上げます。

十字の園「行動規範」が 制定されました

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

「十字の園ってどんな法人?」「どんなことを目指している?」「どんな取り組みをするの?」といったことに対し、少しでもわかりやすく内外にお伝えできるものとして、この度、社会福祉法人十字の園の理事や職員が守るべき「行動規範」が定められました。これは先般の社会福祉法人制度改革を受け、求められるコンプライアンス（法令遵守）を推進するためのガバナンス（組織統治）強化の一環でもあります。法人の存在目的が記されている定款第一条や理念を具体的な行動として明文化したものです。私たち十字の園の理事や職員はこの行動規範を遵守し、行動することが求められます。そしてこれは利用者やその家族、地域の方や行政、関係機関や業者など外部に向けて、十字の園という法人が、この行動規範に基づいて行動している団体であるということを示したものであります。行動規範は、定款や理念とともにとても大事なものです。

そこでこの機関誌で、今年度はこの行動規範について、職員の理解、浸透を図るため、また、多くの方に知っていただくため、記していきたいと思えます。

まず全体の構成は、揭示して職員が普段から目にできるようにA4用紙一枚に収まっています。また、覚えやすいように五つの行動規範にまとめられています。初めに前文があり、続いて理念が記載されています。前文は法人の定款第一条に基づいた内容となっています。

【行動規範の前文】

社会福祉法人十字の園の理事並びに職員は、法人の理念の実現を目指し、キリスト教精神に立って、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるように創意工夫します。利用者が、個人の尊厳を保持し、地域社会で自立した生活を営むことができるように支援します。その為に法人の理念を基本姿勢とし、以下の規範を遵守して行動します。

ありがとう!! 二枚橋デイサービスセンター ひだまり

御殿場通所介護センター 相談員

勝俣 千絵

ひだまりデイサービスは今年の四月一日より御殿場通所介護センターに統合になりました。

ひだまりデイサービスは、いままでも古民家をお借りして運営してきましたが、建物の老朽化、活動範囲が限定される等多数の問題をひとつひとつ話し合い「統合」という結論になりました。

一月より、ひだまりを利



用される皆さんにも慣れて頂けるよう何度か御殿場通所介護センターに行き一緒に過ごす時間を作りました。

「同級生に会えたよ!!(御年九十八歳にて四人の同級生と会えました。)」「歩行練習ができるから嬉しい」等の声をいただいた反面、「やっぱり狭いほうが落ち着くね。」「ひだまりは日が当たって良かった。」という声もありました。

三月後半の週には「ひだまりありがとう」の意味を込めてお茶会を開催しました。「寂しいよ…」と涙を流す方もいらっしゃいました。職員も胸がいっぱいになり、又ご家族の方からの貴重な意見もいただき、統合してから今まで以上に安心して楽しんでいただけるデイ

サービスにしようかと改めて感じた次第です。

統合がスタートし、ひだまりでは出来なかったレクリエーションや機械を使用していたカラオケを楽しんだり、数が倍になった湯飲みの片づけや食後のテーブル拭きを自分の仕事として率先してお手伝いしていただけの方や、少しずつではあります皆さんの表情が穏やかになってきたように感じます。

ひだまりでは限られていた機能訓練に関しても、リハビリ担当職員を中心に介護、看護が連携し一人一人に合ったメニューを作成し、身体機能の維持向上につなげていけるように取り組んでいきたいと思っております。

『御殿場通所介護センターに来てよかった。』と思っただけのように、今後皆さんはもとよりご家族と一緒に楽しく安心して過ごせるデイサービスを作っていくしたいと思います。

十字の園 行動規範

社会福祉法人十字の園の理事並びに職員は、法人の理念の実現を目指し、キリスト教精神に立って、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるように貢献工夫します。利用者や、個人の尊厳を保持し、地域社会で自立した生活を営むことができるように支援します。その為には法人の理念を基本姿勢とし、以下の規範を遵守して行動します。

【理念】

「夕暮れになっても光がある」(田代聖徳ゼカリヤ書 14 章 7 節)
 「人徳を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」

【行動規範】

・私たちは、一人ひとりの命と個性と権利を大切にします。

私たちは、一人ひとりの命を大切に、多様性を認め個性、年齢、身体や精神状況、家庭環境などで差別をしません。一人ひとりが平等で自由であることを深く認識し、プライバシーを守り自己決定を最大限に尊重した支援に努めます。命とは、一人ひとり輝きまはらされたかけがえのない大切な命です。

・私たちは、支援の必要な方に積極的に歩み寄り、必要な支援を届けます。

私たちは、当たり前前の支援をしなければならぬ支援を行うだけではありません。多くの困難を助えた方、支援の難しさのある方を助えることなく、さらに支援が行き届いていない方々へ心向け支援します。そして、支援できるようなムネを育む創造を大切に、また、地域関係を構築していきます。そこから生まれる喜びや感動が私たちの喜び、糧であります。

・私たちは、常に自己研鑽に励み、互いにか力を発揮し合い協力して支援します。

私たち一人ひとりは、それぞれに強弱を秘めています。利用者より高く、その人らしく「生きる」を支えるため、また、法人の理念の実現を図るため、主体的に自分自身のスキルや能力などを磨き、十字の園の職員として積極的な姿勢を持ち十分にコミュニケーションをとり、互いにか力を発揮し合い支援し続けます。

・私たちは、安心、安全な職場環境を整えます。

私たち一人ひとりが輝きまはら十字の園に育まれた大切な一員です。職員誰もが仕事意識を持ち主体的に、また、お互いに認め合い支え合って安心、安全な職場環境を築き、整えるよう努めます。

・私たちは、誠実で公正かつ適正な経営を行います。

十字の園は、社会福祉法人として高い信頼が求められます。増進に貢献される法人として健全な経営を営むとともに、必要な支援を届けられるよう、また、職員が安心して働き続けられるよう誠実で公正かつ適正な経営に努めます。

2019年2月22日 制定

ここで理念とは、十字の園の理事や職員にとって、「実現を目指す」ものであり、「基本姿勢」となるものとして位置付けています。「夕暮れになっても光がある」ゼカリヤ書一四章七節を初代理事長の鈴木正二氏は、十字の園の仕事を始めるとあって、何によって仕事をし、何を目指したいか、という時にこの聖句を選ばれたとのこと。十字の園は、「夕暮れになっても光がある」そのような社会の実在を目指し、また、拠り所としていなのです。そして、理念が聖書から引用されているのは、十字の園がキリスト教の精神にたって運営して



いくことを使命としているからです。その思いや意味がこの前文には込められています。次号からは、このことを具体的な行動として明文化した行動規範について記していきます。

事業所紹介

御殿場十字の園 看護室

看護課長 杉山 潔

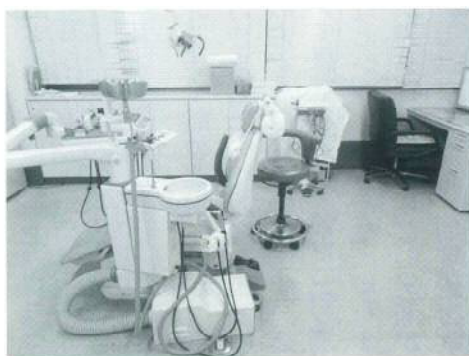
御殿場十字の園看護室は特養内の診療所に併設され、主に私共施設を利用される方々の健康管理などを行っています。傷の処置、発熱時の対処、検温などその症状ごと対応しています。国の調査では高齢者の死亡原因一位は肺炎となっており皆さんとのコミュニケーションを図るなかで、状態変化の早期発見に努めています。抵抗力の低下に伴い、いろいろな感染症に感染する機会も多くなり特に冬季では、インフルエンザの流行に対し利用者、職員ともワクチンを行いほぼ一〇〇%の接種となっています。ノロウイルスは治療薬もないため、日頃の対策が大

切となります。十字の園では環境整備で消毒薬を使用しています。主なものとしては、エタノール、次亜塩素酸ナトリウム（ハイター）などを使用し感染の予防に努めています。発症時は医師の指示により適切に対応しています。年一回の健康診断では、血液、尿検査、心電図、胸部レントゲンをしています。

歯科医師による診療も月一回行っています。事前に歯科衛生士による巡回があり口腔内のチェックを行い診察にそなえます。八〇二〇運動（八〇歳で自歯二〇本）にも力を入れ、口腔ケアを行っています。

機能訓練では指導員が二名在籍しており、それぞれ入所介護と通所介護の皆さんへの機能訓練を実施しています。入所では体操、関

節可動域訓練、立ち上がりなどの基本動作練習、歩行練習を中心に、イベントでの室内送迎、食事動作のチェックを行っています。通所では体操を通しての姿勢アプローチ、筋力強化訓練、歩行訓練を実施し在宅生活での歩行能力、日常生活動作能力に貢献できるように努めています。



すみれ

★春のお花見

渡邊秀美



春というのに雪が降ったおかげで、四月中旬になって富士霊園でのお花見となりました。スーパードで宴会用のお酒や総菜等々好きなものを選んでいましたが、多くの品物が圧倒され選ぶのも一苦労。好みを聞きながら購入して、いざ霊園へ。散りゆく桜の花びらを見ながら、ゆつくりとした時間の中で宴会をスタート。時折、食材に桜の花びらが入って「一緒に食べようか」と頬を赤らめながらビール片手に召しあげられました。外で食べるのは格段においしさが増しお話も盛り上がりました。今年度は、すみれユニットとして皆さんの意向にそえる外出支援や外食など行っていこうと考えています。

ひまわり・あじさい

★ドライブ外出

松本 耕



今日は小山町にある食事処に皆さんと一緒に出かけました。四月は遅雪に見舞われ寒暖の差が激しく、健康を第一に外出を控えていたことができました。五月を迎えて気温が上がり「春」に相応しい気候に加え年号が「令和」に代わり、新元号の嬉しさも相まってのドライブ外出となりました。外出先の食事処では、どの方も嬉しさといった満面の笑みであることと自分で出来るという嬉しさもあり、ひとりひとりに躍動感を感じることが出来ました。今回は食事のみの外出でしたが、コミュニケーションをたくさんとることができ、よいドライブ外出となりました。

ちどり

★ドライブ外出く花より団子

前田理沙



四月二十六日、本来はチューリップ畑へのドライブ外出の予定でしたが、天気はあいにくの雨。皆で相談した結果、予定を変更して江間に苺狩りに出かける事にしました。甘い香りが漂う広いハウスで大きな完熟の三品種の苺を食べ比べ、それぞれ好みの苺を見つけて今シーズン最後の苺を思う存分楽しめました。その後は伊豆のめんたいパークへ。苺狩りで「お腹いっぱい」「もう入らない」と言っていた皆さんも、明太子の誘惑には逆らえずフードコートで明太子たつぷりのおにぎりやパスタをペロリと完食！まさに花より団子の大満足なドライブ外出となりました。

ひばり

★外泊支援く伊豆旅行く
土屋俊樹



松崎十字の園

四月三十日から五月一日にかけて、御殿場十字の園にいらつしやる伊豆地方出身の方おふたりと外泊支援に行つてきました。一日目に松崎十字の園にて面会して、宿泊させていただいて、温かいおもてなしをしていただきました。ここから感謝いたします。二日目は伊東のデイスーツにて面会をしました。おふたりとも、久しぶりに会うご家族、そして故郷の空気を体で感じる事ができ、喜んでいただけましたことと思います。旅の途中で垣間見せてくださった笑顔と喜びを大切に、この外泊支援がこれからのおふたりの生きる希望となつていただければ幸いです。

かなりあ

★お寿司パーティー

湯山了太



二月十八日、お寿司パーティーを開催しました。つばぐちにてお寿司とオードブルを注文し、デリバリーして頂きました。準備が完了するのを待っている間、皆さん何が始まるのかとワクワクしながらお話をされておりました。お寿司とオードブルが各テーブルに届くと、「おーすーいー、美味しそうだね」といった声が聞かれ、まちまちに好きなお寿司やおかずをとり、美味しそうに召し上がっていました。取りづらそうにしている方には声をかけて取って差し上げると、嬉しそうに「ありがとう」と言ってくれました。皆さんが食べたいもの、やってみたい事などの希望を伺って、定期的なイベントを行っていきます。

ケアハウス

春の遠足

アドナイ館 高橋 雅昭

毎年恒例のアドナイ館の遠足ですが、今年には修善寺へ行きました。絶好のお出かけ日和に入居者の方々の会話も弾みます。途中のレストランで昼食を食べ修善寺に到着。修善寺は修善寺というお寺があり、またすぐそばには川が流れ独鈷の湯などの足湯があるなど情緒ある温泉街です。到着後皆さん思い思いの場所へ。春の日差しの中修善寺にお参りされる方、足湯につかる方、わさびソフトを食べる方、いきなりお土産を買い始める方など皆さん思い思いに楽しんで過ごされました。帰りは函南のめんたいパークで明太子の試食とお買い物。観光にショッピングに食事に大満足の一日でした。



ポランテア紹介

福島家の江戸姫桜

福島 正昭

昭和四十六年、小山町新柴のとあるお宅から取り木をしてこの場所に植えたのですが、三年後に庭の造園をした時に、ちょっと目を離していた間に引き抜かれてしまいました。数日後にそれに気がついて慌てて植え直したところ、幸い枯れずに済み育ってくれました。その後挿し木や取り木で十本程に増やして、二本を此処に残して、広島、宮城、静岡に嫁入りさせて、その子達はしっかりと毎年花をさかせています。年老いた親木はと言うと、今も元気で新柴円通寺から五十メートルほど坂道を上った右側にあり、道路拡幅工事でも大切に保護されています。一般的に桜は枝切りや、移植に弱いと言われていますが、新柴や桑木、竹の下にこの親木の子孫・子供たちが多いのは、この親木の桜が持つ力強さであるのかもしれない。聞いた話では、この親木は御殿場線の線路の脇に苗木で落ちていたものを持ち帰って今の場所に植えたとの事です。この桜がなぜ江戸姫桜と言われているのかは不明ですが、たぶんコヒガンザクラの一種であろうとおもわれます。

十字の園との関わり合いは平成になってこちらに入所されている皆様桜を見に来られるようになり平成六年から、お茶を差し上げるようになったことが始まりです。以来お花見が始まり今年で二十五回目になります。その間延べで三千五百人以上の方々を訪れてくれました。ポランテア、十字の園職員の皆さんの全面的な協力、支援をいただき感謝しております。

今年もライトアップしました。今後も皆さんの癒しになれば、うれしいです。



在宅トピックス

デイサービス

◎新スタート 御殿場通所介護センター 磯野芳美



四月より、ひだまりと合同になり新しい通所介護センターとなりました。今回は職員紹介をしたいと思います。

主任・小野真樹
 リーダー・勝俣和也
 相談員・河合美代子、勝俣千絵、橋本康恵
 介護職員・室伏千鶴、磯野芳美、山田明美、呂洪珠、谷田貝泰子、山田綾夏、今井幸子、中川正枝、高村ちよ子、五十嵐イミコ
 ボランテア兼・神戸由紀子
 機能訓練指導員・橋本知美
 看護師・井上政江、江並美帆
 運転手・根上一山、長浜親光、杉山 満

職員一同、協力して連携し合い、デイサービスを盛り上げて行きたいと思っております。

くらしのよ

◎「命のリレー」

武藤繁生

先日の新職員オリエンテーションで「障害福祉く生きるを支える」をテーマに講義させていただきました。新職研修に限らずどの講義でも私が必ず話す余談話があります。余談と言っては虫が良すぎるかもしれませんが、私の趣味の話をごさんに半ば強引に聞いてもらう自己満足な講義というマニアックなもの。医療の発達に伴い救われる命も増えるわけです。群馬県でフライトドクターをしている知人が私に言います。僕らが救えた命の先に君たちのような職種の人に関わってくれて皆で命を繋いでいる。と。という事は救われた命と向き合っさせていくことが私たちに課せられた課題であると共に、そこに携われていることが誇りであるとひしひしと感じています。



シートステイこすもす

◎お寿司を食べにはま寿司へ 中垣内拓実

まだ少し肌寒さの残る四月の中旬に、私たちコスモスユニットではお寿司を食べへ、はま寿司に行ってきました。お店に到着して店内に入るとA10ボットのペッパー君のお出迎えを受けました。「イラッシャイマセ、ナンメイサマデショウカ？」と流暢な対応に皆さん驚いた様子で、物珍しそうにペッパー君を見ておりました。ここからはお店の方に席に通して頂いて、席に座って肝心のお寿司です。準備万端でマグロ、エビ、ブリなどなど思い思いにお寿司を注文します。「お寿司なんて滅多に食べに行けないよ」「やっぱりお寿司はいいね」と大満足の様子で、ひじょうに有意義な昼食外出になりました。これからも皆さんに満足して頂けるようなイベントを計画していきたいと思っております。



ぶじちゃん

◎役割もっていきいきと！ 中川玲花

ふじざくらでは普段から一人一人に合った「役割」を持って過ごしていただいています。役割を持つことにより「役に立って！」という気持ちが生生活意欲を引き出し、自立支援に繋がっていく事を期待し大切にしています。今回のイベントは「巻き寿司」。「巻き寿司係」と「豚汁係」に分かれて調理をしていただきました。巻き寿司係の方は二年ぶりに作ったとのことですが、絶妙な力加減で玄米並みの出来栄でした。豚汁係の方も野菜を手際よく切り、味噌の加減も見て正に「これぞおふくろの味」という逸品を作り上げてくださって美味しくいただきました。これから自信をもっていきいきと過ごしていただけるようお手伝いできたらと思います。



献金下さった方々

敬称は略させていただきます

1月分

富士調理技術専門学校、鈴木月子、椛山美好、日本キリスト教団三島教会、学校法人玉川聖学院、日本キリスト教団富士教会日曜学校、平井のぶ子

2月分

捜真女学校同窓会・PTA、石和みづほ、野田邦康、土屋正平、高嶋幸子、中島善子、学校法人女子学院

3月分

上野忠昭、捜真女学校高等学部・中学部、一般社団法人玉穂報徳会、東洋英和女学院中高部宗教委員会、(株)SDTエンタープライズ、伊倉智浩、函南町民児協高齢者福祉部会

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

1月

勝又ツヤ子、厚生年金婦人部、アドナイ館、藤原節乃、野木和子、中里京子、野木須美子、春風一路、赤十字奉仕団、御殿場教会、金子克己、鈴の会、市婦連福祉グループ、なでしこ会、秋葉絹子、佐藤峰子、琴音会、隆生会(鈴木富佐子)、加藤正代、中曾根靖枝、藤江静子、関根保子、桑原寛志

2月

厚生年金婦人部、勝又ツヤ子、アドナイ館、藤原節乃、野木和子、金子克己、藤江静子、岩崎欣子、中里京子、ビューティースロンヤマダ、印野はざまの会、赤十字奉仕団、加藤正代、中曾根靖枝、貢宝会、御殿場市図書館ボランティアの会、隆生会(鈴

3月

木富佐子、鈴の会、桑原寛志、市婦連福祉グループ
 厚生年金婦人部、アドナイ館、藤原節乃、勝又ツヤ子、金子克己、藤江静子、中里京子、野木和子、岩崎欣子、ビューティースロンヤマダ、ナカノ美容室、なでしこ会、赤十字奉仕団、琴音会、鈴の会、なでしこ会、中島成代、芹澤みさ子、モラロジー女性部、御殿場教会、隆生会(三井寿子)、春風一路、市婦連福祉グループ、福島正昭、只野あつ子、井上すずみ、藤原グループ、桑原寛志、(株)コスメロール

4月

藤原節乃、野木和子、勝又ツヤ子、中里京子、中島成代、芹澤みさ子、杉の子大正琴、アドナイ館、なでしこ会、市婦連福祉グループ、藤原グループ、ビューティースロンヤマダ、印野はざまの会、厚生年金婦人部、関根保子、エンジェル(レクダンス)、(株)コスメロール、藤川けん、桜花会、斉藤淑子、御殿場教会、春風一路、御殿場市図書館ボランティアの会、赤十字奉仕団、野木須美子、隆生会(鈴木富佐子)、ふれあい動物、鈴の会、佐藤峰子、野木須美子

御殿場十字の園へのご寄付

1月分	7件	225,000円
2月分	8件	113,586円
3月分	9件	210,014円

H30年4月～H31年3月
 累計 59件 1,607,953円

ご献金、ご献品心より
 感謝申し上げます。

郵便振替口座
 口座番号 00870-9-190162
 口座名称
 社会福祉法人十字の園
 御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙を
 お送りいたします。

安全運転について



十字の園の公用車にもドライブレコーダーを取り付けるようになりました。

最近、交通事故のニュースをよくテレビで見かけます。自分が気をつけていても事故に巻き込まれてしまう可能性もあり、ドライブレコーダーを取り付けていけば安心というわけではありませんが、事故以外でも記録されているということもあり、後から運転技術について見返すこともできます。十字の園は高



齢者の施設ですので、高齢者を乗せての運転の機会が多くあります。ブレーキのかけ方や振動、カーブやスピードについては普段から職員一同注意をしていますが、ドライブレコーダーを取り付けた今回を機に今まで以上の安全運転に注意していきたいと思えます。

あとがき

マヨネーズのキューピーは大正八年(一九一九年)に生まれ今年百周年。創業者中島董一郎は留学先の米国でポテトサラダを食べた時のマヨネーズが忘れられず、そして英国に渡る船中でオレンジ・ママレードに感動し、英国下宿先の大家さんから作り方を習ったといひます。時を経て日本初のマヨネーズを食品工業株式会社(現キューピー)から、創業に関わったアヲハタからは日本初のオレンジ・ママレードを生み出しました。中島董一郎が食いしん坊だったからこそ日本は二つのおいしいを授かりました。そのしあわせと共にこの機関誌をお手元に。

(やまもと)

